

みずこくよう 【水子供養】 起源は浄土宗

「水子供養（みずこくよう）」
という言葉聞いたことが
ありますか？

仏教では母親のお腹の中
で命ができた瞬間から人生
が始まるとしています。亡く
なったときに享年（行年とも
いう）が数え年になる理由で
もあります。

水子とは、母親のお腹の中
で命が尽き、生まれてこられ
なかった子ども。また生まれ
て間もなくこの世を去った
命のことを言います。昔は人
として認められず、供養を受
けられませんでした。

しかし、この水子も立派な
生命であり、感情や思いがあ
るのだと、供養を始めたのが、
実は法蔵寺と同じ宗派「浄土

宗」の僧侶、江戸時代に活躍
した『祐天上人（ゆうてんし
ようにん）』です。

祐天上人は、人々が祖先に
守られ、幸せに人生を過ごせ
るように様々な活動をし、多
くの功績を残しました。上人
は呪術師としても有名で、そ
の力を宿した「祐天上人名号
碑」を全国に建てました。名
号碑は現在文献にまとめら
れています。その一つは法
蔵寺の赤門参道にあります。

（左写真）

古くから「悪縁切り」とし
て伝わっていますが、願いが
叶うとされるので、様々な形
で信仰の対象になっていた
ようです。



法蔵寺では、以前より水子
供養をしていましたが、この
度、水子供養のための位牌を
作りました。供養をされた方
がご自宅にお祀りするか、本
堂に安置するかを選ぶこと
ができます。

水子は我が子ばかりでは
ありません。祖先の水子も機
会があればぜひ供養したい
ものです。祐天上人縁の法蔵
寺で水子供養することは、
功德も高いことでしょう。



水子の御霊も喜びます

お申し込みは、お電話か直
接寺務所にお申し出くださ
い。供養の冥加料（みようが
りようご）供養のお布施）は、
五〇〇〇円からお気持ちで
お納めください。 合掌

先代住職

ずいほうそうこうしょう
『瑞寶雙光章』

を受章いたしました

この度先代住職が、皇居
におきまして天皇陛下より
叙勲受章いたしました。長
年、少年院や刑務所に収容
されている方々にお話しや
面談をして矯正に尽力した
ことが評価されました。ひ
とえに法蔵寺檀信徒の皆様
等のご理解とご協力の賜物
です。この場をお借りし厚
く御礼申し上げます。 合掌

